

事業実績報告書

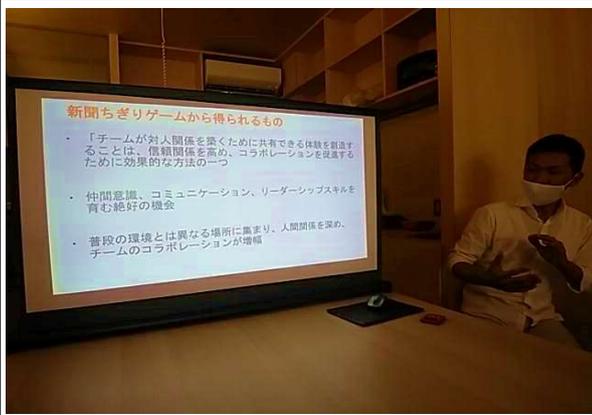
様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B 68	講座名	調べて体験！ 協同して発表！ 循環型農業と農福連携を学ぼう
記載日	2022/8/30	団体名・企業名	めいとう学習支援会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

1回目は、ゲームを使ってSDGSをテーマにして話し合ってください。話し合うことで相手の本音を探り親睦を高めて頂きます。2回目は、名古屋が抱える諸問題に関し、高校の教科書を使って回答を探して頂きます。高校の教科書を使う事で若い方と知識を共有して頂きます。3回目は、環境保全に取り組む企業を訪問します。企業の収益の上げ方を知って頂くことで、自分がどんなやりかたをすればいいか探して頂きます。4回目は、企業が行っている工夫と、教科書から学んだ知識。これらを重ね合わせた上で、ご自身はどんなSDGSに適した行動を、継続して行けるか？。発表して頂きます。発表の後、親睦を高めた相手と活動を開始して頂きます。



※写真1の説明

10/15、SDGSをテーマにして話し合う

※写真2の説明

11/05、バナナ農園を訪問してお話を聞く。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

集客できなかった原因と改善案を7点、記します。1：ターゲットの選定ミス（学生を対象としましたが、競合を考えると今後は大人を対象にしたチラシ作りを行います）。2：集客方法（新規営業を控えて、クチコミに力を注ぎます）。3：体験場所との距離（移動時間を考えて、名古屋市内で行います）。4：マーケティング不足（様々なサークルに予めアンケートを行い、回答を頂いてから企画します）。5：勉強よりワクワクが大事（環境大学では楽しんで頂き、勉強は当団体で行う。授業内容を振り分けます）。6：1日で完結（昼休憩を挟み、午前午後で完了させます）。7：最小限に絞ります（考え方の違いに気付く、と言った内容ではなく、結論は1つ、にします）

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- 1、新聞をちぎって長さを競い合うゲーム、楽しかったし自分達でもやってみる。
- 2、難しくはないが、発表が多く、頭の中でまとまらない。
- 3、ゲームの導入もあって、わかりやすい。